

令和6年度教育課程特例校 与論小・茶花小・那間小・与論中



「海洋教育科『ゆんぬ学』」の評価

与論町の全ての小・中学校では、国の認可を受け、独自の教科「海洋教育科『ゆんぬ学』」を設置しています。この「ゆんぬ学」については、授業参観や学校だより、町民向けシンポジウムや、児童生徒による成果発表会「ヨロン海洋教育フェア」等を通じて、町民の皆様の御理解が深まっているとともに、地域からの御協力の輪も広がっているところです。

その「ゆんぬ学」について、学校の自己評価及び保護者・学校関係者評価の一部を公表します。

これらの評価結果を受け、各学校及び与論町海洋教育推進協議会は、「ゆんぬ学」を一層充実させるための取組を進めて参りますので、引き続き、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。



① 「海洋教育科『ゆんぬ学』」とは???

与論町委員会ウェブサイトの「海洋教育」のページに情報を掲載しています。



★ヨロンの海洋教育「令和4年度のまとめ」★

最終更新日：2023年6月15日 印刷

与論町の小・中・高等学校の子どもたちと島の大人たちが手を取り合って作り上げる、新しい学びのかたち、海洋教育。その概要を御紹介いたします。

与論の海洋教育とは

- R4 与論町海洋教育グランドデザイン (PDF: 280.3キロバイト) □
- R4 海洋教育実践記録集 (PDF: 3.4メガバイト) □
- 町民向けシンポジウム資料「どのような学びで何を身に付けさせるのか」 (PDF)
- 先生・地域向け副読本「みんなで学ぶヨロンの海洋教育」 (PDF: 15.78メガバイト)
- 町民向け広報文「新しい教科、海洋教育科『ゆんぬ学』について」 (PDF: 1.21)

各学校での実践例 (令和4年度)

- 与論小学校での海洋教育 (PDF: 897.8キロバイト) □

② 学校の自己評価より



与論町立与論小学校

学校の自己評価項目

「ゆんぬ学」などで、地域と連携した協働的な探究活動を推進することができた。

評価結果

大変満足できる・満足できる
→ 81.8%



学校の自己評価項目

伝承文化活動の継続的取組ができた。
(ユンヌフトゥバ学習、与論十五夜踊り等)

評価結果

大変満足できる・満足できる
→ 90.9%



保護者の評価項目

学校の海洋教育「ゆんぬ学」は、「島だちの力」を身に付けさせるものになっていますか。

評価結果

大変満足できる・満足できる
→ 85.5%



与論町立茶花小学校

学校の自己評価項目

「ゆんぬ学」では、各教科とのつながりを意識し、横断的に学習を展開することができた。

評価結果

3.3点/4点満点

主な意見

低学年から、与論の水に親しみ生き物に関わる取組を行うことで、海洋教育の土台作りが行えた。地域には、講師となってくれる人材がたくさんいるので、それを生かして海洋教育を充実させたい。



保護者の評価項目

子供は、海洋教育を通して、与論のよさを感じている。

評価結果

3.1点/4点満点



主な意見

与論の文化や自然、伝統を感じる取組があり(ゆんぬ学)アイデンティティーの形成にプラスだと感じている。子供たちに対する教育心理をふとした会話の中で感じる。家庭では何ができるか、考えさせられる。



与論町立那間小学校

学校の自己評価項目

「島だち」を意識し、各教科との関連を考慮した海洋教育の推進に努めた。

評価結果

2.8点/4点満点



学校の自己評価項目

与論の海や文化、地域に関する理解を深め、課題探究の学習に努めた。

評価結果

2.6点/4点満点



主な意見

講師を招聘した学習では、教師では伝えられない与論のことを教えていただき、児童だけでなく教師の学びにもなっている。保護者への周知を図るために、さらに、学校ブログや学級通信などで取り上げていきたい。

児童の評価項目

与論の海や文化、地域について自ら進んで学習に取り組んでいますか。

評価結果

3.2点/4点満点

保護者の評価項目

お子さんは、与論の海や文化、地域について、自ら進んで学習に取り組んでいますか。

評価結果

2.6点/4点満点



与論町立与論中学校

学校の自己評価項目

海洋教育(小中高連携、「島だち」の力の育成等)を充実させるための活動に取り組めた。

評価結果

とても思う・思う
→ 92.8%



生徒の評価項目

海洋教育(ゆんぬ学、デーバータイム等)に意欲的に取り組むことができた。

評価結果

とても思う・思う
→ 94.9%

保護者の評価項目

学校は、海洋教育(ゆんぬ学、デーバータイム等)に積極的に取り組んでいる。

評価結果

とても思う・思う
→ 82.6%

本報告書は、各学校からの報告を受け、与論町海洋教育推進協議会が作成しました。
評価の対象とした時期は、「令和6年度の1年間」及び「令和7年度1学期」です。